

テキサス大学連携事業の成果レポート

1 これまでの経緯

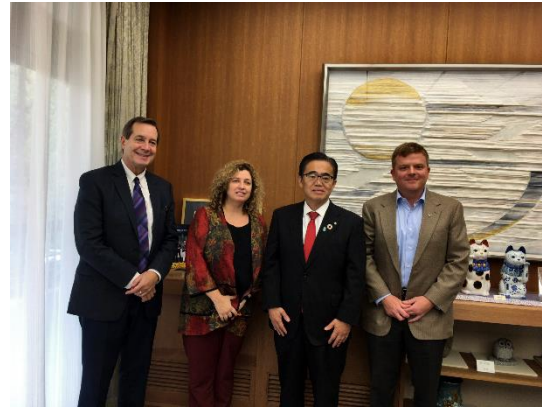
愛知県は、米国テキサス州と、緊密な友好関係の構築、経済、文化、人材などの分野における連携・協力、民間分野での交流の促進などを目的として、2016年4月に相互協力に関する覚書を締結しています。このテキサス州の州都であるオースティン市は、この数十年の間に急速に成長した世界を代表するスタートアップ・エコシステム先進地の一つです。県では、覚書に基づいたテキサス州との交流の中で、産学官連携で次々とイノベーションが創出された「オースティン・モデル」の方法論や支援ネットワークを吸収することを目的とし、日本初の取組としてテキサス大学オースティン校と愛知県との連携によるスタートアップ支援を行っています。

時 期	内 容
2016年4月22日	県とテキサス州で友好交流及び相互協力に関する覚書の締結
2018年5月9日	覚書に基づくテキサス州との交流の一環として、知事がテキサス大学オースティン校を訪問
2018年6月 ～2019年1月	県とテキサス大学オースティン校の間で、愛知県において「オースティン・モデル」を参考としたスタートアップ・エコシステムの形成・充実を進めることについて意見交換を継続
2019年2月	第1期プログラムの実施（～2020年3月） <ul style="list-style-type: none"> ・本県支援機関との面談実施 45機関 ・スタートアップ北米展開支援 オンラインプログラム受講 13名 事業加速レポート提供 8社 海外展開ハンズオン支援 5社 ・支援機関向けワークショップ 参加者延べ128名 ・オースティンツアー 17名 ・ロードマップの公表
2020年4月	第2期プログラムの実施（～2021年3月） <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ北米展開支援 オンラインプログラム受講 28名 事業加速レポート提供 10社 海外展開ハンズオン支援 5社 ・支援機関向けワークショップ 参加者延べ69名 ・サウス・バイ・サウス・ウエスト出展 2社
2021年4月	第3期プログラムの実施（～2022年3月） <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ北米展開支援 事業加速レポート提供 3社 海外展開ハンズオン支援 5社 ・支援機関向けワークショップ 参加者延べ62名

時 期	内 容
2022年4月	第4期プログラムの実施（～2023年3月） <ul style="list-style-type: none"> ・ スタートアップ北米展開支援 <ul style="list-style-type: none"> 事業加速レポート提供 3社（予定） 海外展開ハンズオン支援 3社（予定） 展示会出展支援 3社（予定） ・ 支援機関向けワークショップ（内容検討中）



大村知事によるテキサス大学オースティン校訪問（2018年5月9日）



ソニア副学長県庁表敬訪問（2019年10月21日）

2 事業概要（2018年度～2021年度）

テキサス大学オースティン校と連携した、グローバル展開を狙うスタートアップの育成プログラム及び支援機関向けプログラムを実施しています。

【A スタートアップ北米展開支援プログラム】

① スタートアップ知見習得オンラインプログラム（第1・2期のみ）

オースティンで蓄積されたスタートアップに必要な実践的知識や情報を、ウェブプログラムとしてオンデマンド型で提供。

② 事業加速レポート提供

インタビュー・情報提供を通じて、NASAが開発した手法をベースにテキサス大学が独自の方法論で作成した、以下の内容を含むレポート（20ページ程度）を提供。

- ・ 海外大企業・投資家等との商談で活用できる技術・市場・競合優位性サマリ
- ・ 事業を加速するための分析・アクションプラン
- ・ ビジネスパートナー候補のリスト

③ 海外展開ハンズオン支援

各社につき1名のテキサス大学メンターが、5か月程度にわたり以下の支援を実施。

- ・ 週1回程度のメンタリングを通じた、事業・ピッチ内容のブラッシュアップ・米国内外のネットワークを活用したビジネスパートナーの探索・提携支援



- ④ サウス・バイ・サウス・ウエスト（SXSW）オンライン出展（第2期のみ）
オースティンで開催される、世界最大級のテクノロジーの祭典として有名な、サウス・バイ・サウス・ウエストへの出展支援。

【B 支援機関向けプログラム】



- ⑤ スタートアップ戦略ロードマップ作成（第1期のみ）
当地でのインタビュー・ワークショップ・実地調査を通じて、愛知県のスタートアップ・エコシステム形成の加速化を行うための戦略・ロードマップを策定。
- ⑥ オースティンツアー（第1期のみ）
愛知県のスタートアップ・エコシステムの関係者向けに、テキサス大学オースティン校スタートアップ支援施設、企業等を訪問し、意見交換を行う現地ツアーを実施。
- ⑦ 支援機関向けワークショップ
ワークショップを通じて、愛知県のスタートアップ・エコシステム構築を担う支援機関の育成を実施。



第1期プログラムキックオフセミナー
(2019年3月2日)



第1期スタートアップ北米展開支援
プログラムピッチコンテスト
(2019年8月7日～8月9日)

Main differences between High and Low context

HIGH CONTEXT (HC)	LOW CONTEXT (LC)
<p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> High use of nonverbal elements: voice tone, facial expression, gestures, and eye movement carry significant parts of conversation. Verbal message is implicit; context (situation, people, nonverbal elements) is more important than words. Verbal message is indirect; one talks around the point and establishes it. Communication is seen as an art form—a way of engaging someone. Disagreement is personalized. One is sensitive to conflict expressed in another's nonverbal communication. Conflict either must be solved before work can progress or must be avoided because it is personally threatening. 	<p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> Low use of nonverbal elements. Message is carried more by words than by nonverbal means. Verbal message is explicit. Context is less important than words. Verbal message is direct; one spells things out exactly. Communication is seen as a way of exchanging information, ideas, and opinions. Disagreement is depersonalized. One withdraws from conflict with another and gets on with the task. Focus is on rational solutions, not personal ones. One can be explicit about another's bothersome behavior.



第3期支援機関向け第3回目ワークショップ（オンライン開催）
(2022年2月15日)

3 これまでの成果

(1) 支援概要

3期にわたるプログラムにより、以下のような成果が得られました。

項目		2018-19年度 (第1期)	2020年度 (第2期)	2021年度 (第3期)	実績計	
A スタートアップ 北米展開支援	①	オンラインプログラム受講（知見習得）	13名	28名	-	41名
	②	事業加速レポート提供	8社	10社	3社	21社
	③	海外展開ハンズオン支援	5社	5社	5社	15社
		潜在的な北米ビジネスパートナーの紹介	161社	130社	227社	518社
		NDA締結/サンプル提供	1社	7社	3社	11社
	④	S X S Wオンライン出展	-	2社	-	2社
B 支援機関向け	⑤	ロードマップ作成のためのヒアリング	45機関	-	-	45機関
	⑥	オースティンツアー	17名	-	-	17名
	⑦	支援機関向けワークショップ	延べ128名	延べ69名	延べ62名	延べ259名

(2) 具体的な成果事例（2021年度）

A スタートアップ北米展開支援プログラム

- 海外展開支援ハンズオン支援に参加した県内スタートアップが、食品加工・流通企業（アメリカ）と秘密保持契約（NDA）を締結し、実証実験の実施を合意（2022年1月）
- 海外展開支援ハンズオン支援に参加した県内スタートアップが、バイオテック企業（アメリカ）と秘密保持契約（NDA）を締結し、協業に向けた検討を開始（2021年12月）

B 支援機関向けプログラム

- スタートアップの海外での資金調達手法、海外ビジネス展開に向けた計画策定等を学ぶワークショップを計3回開催し、最先端のスタートアップ支援手法を県内スタートアップ支援機関と共有。

4 2022 年度事業について

スタートアップ向けプログラムについては、昨年度の内容に加え、本年度は新たに海外展開ハンズオン支援に採択されたスタートアップに対して、北米で開催される展示会等への現地出展を支援します。

支援機関向けプログラムについては、テキサス大学オースティン校関係者が来日し、愛知県内にてワークショップを行う予定です。

A スタートアップ北米展開支援プログラム

内容	対象者数	募集期間	実施期間
②事業加速レポート提供	3 社	2022 年 6 月上旬 ～ 6 月下旬 (予定)	2022 年 7 月 ～ 9 月 (予定)
③海外展開ハンズオン支援			2022 年 10 月 ～2023 年 3 月 (予定)
【新規】 展示会現地出展支援			2022 年 10 月 ～2023 年 3 月 (予定)

B 支援機関向けプログラム

内容	対象者数	募集期間	実施期間
⑦支援機関向けワークショップ (リアル開催)	50 名程度 (予定)	2022 年 9 月上旬 ～下旬 (予定)	2022 年 11 月 (計 2 日間) (予定)